

11.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)		商店街（代表者）	来客数の動き	・クリスマス資材、ネーム入れ、年賀状、ゴム印等、季節商材が多いので売上は増加した。
		乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・購入決断までの期間が短くなっている。また、ローン組まずに現金購入を検討する客が増えている。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・館内レストランの予約状況も好調で単価も高くなってきている。宿泊も稼働率は高止まりで衰える気配がない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・12月は例年になく冷え込みが厳しく魚や野菜等、生産地からの引き合いが多く市場に余り入ってこない。客はスーパーマーケットをはしごして安い食材を購入するが、商店街には足を向けてくれない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・冬の訪れが早く気温も例年より低い日が続いているため、季節商材の売上点数が伸びている。ここ数年では一番動きがよい。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	販売量の動き	・一般消費者向けも企業向けも販売量は好調だった。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・当市は他府県に比べて小売店の競争が激化してきている。一方、九州における当市の一極集中は更に鮮明になってきているが、客が分散している。その中でなんとか売上の方は前年を上回り、単価も上昇している。外商部を中心に高額品の購買が好調であることと、外国人観光客の購買が非常に好調であることに支えられている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・婦人雑貨売場の改装や自社カード関連催事、クリスマス催事やイルミネーション点灯、お歳暮ギフトに続く新春準備等で客の期待感が高まり、来店が促進され滞留時間が伸びた。また購入客数、客単価も上昇傾向である。お歳暮ギフトは、当県の黒牛日本一で精肉等が好調であった。贈答先の絞込みで客数と商品数量は減少したが、客単価と1品単価は維持、厳選した良い品の贈答が多い。また、自家需要商品の受注も増えている。
		百貨店（営業統括）	来客数の動き	・来客数は施策の影響度を省いて見た場合、微増している。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・久しぶりに11月の来客数が前年を上回った。気温低下もあり季節商材が好調である。
		百貨店（店舗事業計画部）	お客様の様子	・クリスマスや年末年始に向けて、贈答及び自家用品の需要が多く、時計や宝飾品、重衣料品の売上が伸長した。またボーナス支給により、購入単価も上昇した。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・クリスマス商戦やお歳暮商戦の単価が良くなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・生鮮食料品がやや高めになっているので商品の動きは悪い。ただ、寒さのためか衣住関連商品の動きがやや良い。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・一般食品や日配品のプライベートブランド商品はディスカウントストアの価格に押され気味で厳しい状況であるが、生鮮を中心に必要なものは品質で選んでおり、客単価、売上高とも前年比で上昇している。特に、今年はカニ類が前年に比べてよく売れている。
		スーパー（経理担当）	単価の動き	・前年並みの売上を維持している。来客数は減少傾向で購入点数は変わらないが客単価が上昇しており、少し良いものを購入している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客数、客単価共に前月比110%であった。ボーナス支給や年末の影響で大きく伸びた。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・夏くらいからずっと調子が良くなかったが、12月から上向いてきて、反動が出てきた。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・寒波の到来とボーナス時期がうまくかみ合い、年末商戦らしさが出てきた。特にテレビの動きがよい。
		家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・冷蔵庫、洗濯機等の白物家電の動きも良く、特に季節商材が活発である。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	お客様の様子	・前年比で新規客が増えた。購入単価は低いですが、既存客に加え新規客で売上は増加している。
	ドラッグストア（部長）	販売量の動き	・9月時点に比べると売上がほぼ計画どおりで良い状況である。ただ、夏前に比べるとやや弱い。	

その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・新規出店と映画動向の関係も大きいですが、今月に入り全館集客と売上動向は確実に上向いてきた。今までは、エステティックサロンやカルチャー教室等のサービス業種が売上をけん引してきたが、現在は全体集客拡大と比例して、物品販売や飲食店が売上を伸ばしている。
高級レストラン（支配人）	単価の動き	・高額なコースメニューも迷うことなく予約が入り、飲料も高額なものが売れた。
観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・忘年会の予約も前年より多い。高額なおせち料理もすぐ予約完売する。
都市型ホテル（販売担当）	販売量の動き	・ホテルの繁忙期でもあるが、宿泊や宴会は前年比増であるが婚礼は前年比減である。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・単価の上昇は高止まり感があるものの、相変わらず低稼働日は少ない。
タクシー運転手	お客様の様子	・市内では買物客が増えている。
タクシー運転手	来客数の動き	・催事、観光客、忘年会等による夜の繁華街も好調で、利用客数、売上共に過去最高であった。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・年度の終わりだが、比較的大きいものがきている。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新商品の投入で、売上件数が上向いている。
商店街（代表者）	単価の動き	・前年比で10～11月連続で客単価が上昇したが、12月に入り客単価が下降している。
商店街（代表者）	お客様の様子	・単価が下がって来客数が変わらないので売上は当然下がる。以前と違い安価な商品しか売れなくなってきており厳しい。
商店街（代表者）	来客数の動き	・九州北部豪雨により景気、消費共に落ち込み、歳末商戦でかなり良くなると見ていたが、当時より少しは良いが回復はしていない。来街客数も歳末商戦とは思えない少なさである。
百貨店（業務担当）	お客様の様子	・今年は冷え込みも早く、例年であれば防寒衣料を中心に日用品にまで動きがあるが、客からは年が明けてから購入するといった返事が多く、今年の年末商戦は前年にも増して購買意欲が低下している。
百貨店（マネージャー）	単価の動き	・外国人観光客の購買が好調に続いている。冷え込みが早く、季節商材の動きがよかった。
スーパー（店長）	お客様の様子	・ハレ型は通常の買物動向がみられるが、その分通常の買物を控えている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・熊本地震の影響で前年度に閉店していた競合店が再開しており、前年比で来客数が厳しい状況である。ただ、客単価は100円増で推移しており、来客数が売上に大きく影響している。この状況が今後半年は続く。
スーパー（統括者）	単価の動き	・株価の値上がり等で高額商品が売れているとの報道があるが、毎日購入する食料品にはその傾向はなく、値下げされた商品だけは売れるが、ついで買いはほとんど見られない。
コンビニ（エリア担当・店長）	販売量の動き	・年末に向けて弁当が前年よりも出ている。プラス1品が相変わらず出ない。レジ周りの販売促進用の商品もじっくりみる客が少ない。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・客の買物の様子を見ていると景気が良くなっている気配がないものの、そう悪いとも言えない。
衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・年末商戦の盛り上がりよりもセール待ちの買い控えの方が目立つ。
衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・今月中旬からセールが始まったにもかかわらず客の動きは非常に鈍い。特に女性高齢者はセールに対する反応が鈍い。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・都市部での販売促進活動は今月も順調であるが、店舗での歳末商戦では前年同月比減である。予想より客足が伸びない。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・燃料油の小売価格は、前月比でやや上昇して高止まりしている。客の様子は、定量及び定額購入が増加することもなく、例年並みの販売量である。
その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	販売量の動き	・贈答用の特産品等、高額商品の動きは良かったが、それ以外の商品の動きが良くなかったため、前年並みの売上には及ばなかった。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・急激な寒さで人が町に出て来なくなり、町は人通りが少ない状態である。もう少し暖かくなると景気は上向かない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前年と同様の予約状況、集客である。単価も安価なメニューに落ち着いており景気が良い感じはない。

	観光型ホテル (専務)	来客数の動き	・周りの様子に変化がないということは将来、上向きにならないということである。上向きになる兆しが無い。
	都市型ホテル (副支配人)	単価の動き	・7～12月まで単価は前年度以上を維持している。
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・第4四半期は学生旅行の動きに期待しており、徐々に予約数は増えてきているが、単価が低く集客人数は前年超えでも売上は追い付いていない。北朝鮮情勢で低迷が続く韓国、グアム方面で若干の回復もみられる。
	旅行代理店(企画)	お客様の様子	・会社の売上推移だけを見ると景気は良いとはいえないが、業界全体としては上向きになっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・夜の利用は増えているが昼間の利用が減っている。
	ゴルフ場(従業員)	お客様の様子	・中小企業では人手不足で厳しいという話を聞く。こういう状態が続く。
	競輪場(職員)	競争相手の様子	・歳末時の売上増の通例が当てはまらない。他場の大きな催事の売行きが伸びない。
	競馬場(職員)	販売量の動き	・日によって発売金が増加したり減少したりと、景気以外の要因に左右されているため、景気変動ではない。
	美容室(経営者)	販売量の動き	・年末で景気は良いはずだったが、今一つ景気動向が優れていない。前月から今月にかけて売上も横ばいであり、美容業界では景気回復が見られない。
	美容室(店長)	お客様の様子	・年末で少しは景気が良くなるはずだが余り変わらず年を越す。
	その他サービスの動向を把握できる者[介護サービス](管理担当)	来客数の動き	・季節要因である年度末のサービス量増により一時的に売上は増加しているが、医療機関の事業所増により競争が激化し客の確保が困難となっている。
	設計事務所(所長)	それ以外	・収入は伸び悩んでいるが、支出は増加している。都会と地方では感じ方が大きく違う。
	設計事務所(代表)	お客様の様子	・良くなる状況が見当たらない。
	住宅販売会社(従業員)	来客数の動き	・来客数に関してはこの3か月間ほぼ横ばいの状況が続いている。
	住宅販売会社(代表)	来客数の動き	・来客数が減少しているが、成約率と売上は横ばいである。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・前年に比べて来客数が少し増えた。
	一般小売店[茶](販売・事務)	来客数の動き	・気温も下がり来客数は徐々に増えてはきているが、限られた商品のみ購入である。年末セールは人気はあるが、例年と比べるとまだ低い。
	百貨店(総務担当)	販売量の動き	・気温が下がり上期から動きが鈍かった衣料品が回復傾向にある。飲食店舗は飲食ビルの開店等で競争激化の影響もあり、宴会需要が取り込めず厳しい。
	百貨店(売場担当)	競争相手の様子	・全体として余り良くない。化粧品は3か月間ずっと2けた増である。
	乗用車販売店(総務担当)	販売量の動き	・新車販売台数が3か月前に比べ目標標準が良くない。来客数はまずまずだが受注に結び付かない。厳しい状況が続いている。
	その他小売の動向を把握できる者[ショッピングセンター](統括者)	来客数の動き	・前年末から始めた催事が1年たち落ち着いてきたが、外国人観光客の購買が顕著に伸びているので下支えになっている。
	住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・最近客を絞り込んで販売をかけるが、住宅を購入する層の中で年収が高い人しか購入しない。子育て世代の購入意欲がなくなっている。
x	一般小売店[青果](店長)	単価の動き	・中央市場の相場だが、レタス12玉が1万円を超えた。ブロッコリーも通年198円のところ、足下は400円くらいになっており全てが値上がりしている。結局売れないので原価を切って売っている状況で、赤字が出ている。年明けも寒さが厳しくこの状況が続く。
x	一般小売店[鮮魚](店員)	お客様の様子	・例年売れるフグも今年は少ない。店によっては数の子が、前年比4分の1くらいまで落ち込んでいるらしく、当地は本当に景気が悪い。
x	衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・年末だということに来街者がほとんどいない。

	x	観光名所（従業員）	来客数の動き	・どこの観光地も平年並み若しくは下回る入込である。第1週は3けたを超えていたが翌週から激減している。
	x	音楽教室（管理担当）	来客数の動き	・これから受験期に入るため悪くなる。
企業 動向 関連 (九州)		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が好調である。
		農林水産業（営業）	受注量や販売量の動き	・季節要因もあるが、例年及び予想より落ち着いている。
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・来年2～4月の需要期は通常比105～110%の予測である。特に事務所家具メーカーでは通年の110%以上の受注を見込んでおり、OEMメーカーへ在庫積み増し要求が出ている。
		金属製品製造業（事業統括）	受注価格や販売価格の動き	・数字では受注、売上共に3か月前より良くなっているが、例年の傾向であり、現在景気はどちらともいえない。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体、自動車関連業種等の機械部品加工の受注量がやや多くなっている。
		電気機械器具製造業（取締役）	受注量や販売量の動き	・車載関連や電池関連での引き合いが強い。
		その他製造業 [産業廃棄物処理業]	取引先の様子	・自動車向けの需要が高まっており徐々に増えている。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年以上に気温が下がった影響で貨物の荷動きが大きい。その影響で売上は堅調に伸びている。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・新型車の国内販売の増勢がやや鈍化してきたほか、住宅着工数が伸び悩んできている。一方、百貨店やスーパーマーケットの売上が緩やかながら回復傾向にあるほか、外国人観光客が増加している。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・倒産件数は限定的で業績悪化企業は僅少である。
		経営コンサルタント（代表取締役）	受注量や販売量の動き	・問い合わせや受注件数が増えてきた。
		その他サービス業 [物品リース]（支社長）	取引先の様子	・3月決算の増益予想企業が前年より多い。節税のための償却等で相談を受ける機会が増加している。建設業と食品製造業が好調である。
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月は特需でスーパーマーケットや居酒屋を中心に大きく伸びている。今年は原料の鳥も順調な仕入れができ工場生産もうまく流れている。加工メーカーの原料も月初めまでに上手く納めることができ大きな問題はない。ただ、今までは年末の忙しさを従業員の残業で補ってきたが、今年は規制が厳しくなり大分注文を断る結果になり、機会を損失することになった。逆に残業ができないことに対して外国人研修実習生から不満の声が出ている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売が多い時期ではあるが、比較的安定した受注である。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末になり客も資金繰りで調整している。一見変わらないが2～3か月前と比べると若干動きが鈍い。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・客の状態は変わらない。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年末になると例年貨物の荷動きが活発になるが、今年は特に目立って荷動きが良いわけではない。年末年始が長期休暇になるため、その期間中の物量を問屋が取るだけで、景気が良くて荷動きが活発になるわけではない。メーカーと話してどうすれば物が売れるか悩んでいるらしい。
		輸送業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・受注量は伸びているが一部の低価格帯の商品であり、景気上向きとはいえない。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・取引先の様子だが、製造業にしても小売業にしても3か月前と比較して良くなる予想を立てていたがほとんど変わらなかった。個人消費は給料が上昇していないため変わらない。
		金融業（営業）	取引先の様子	・製造業は、ここ半年ぐらい受注の水準は高い。製造業以外も含め、投資意欲は高い。
	新聞社 [広告]（担当者）	受注量や販売量の動き	・広告の発注量が伸びない。	
	経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・講習会への参加申込みが少ない。	

	経営コンサルタント(社員)	取引先の様子	・アルバイトの採用が増えている。
	その他サービス業[コンサルタント](代表取締役)	取引先の様子	・市町村が発注する調査や計画・設計業務は、市町村の予算が少ないため、見送りになることが多い。このため、追加の発注が行われず、売上増につながらないことが多い。
	繊維工業(営業担当)	それ以外	・運賃の上昇によって、取引先も我々も苦戦を強いられてしまっている。サイズを小さくしたりして、個数で対応している。段ボールも違うサイズを用意しなければならない。
	窯業・土石製品製造業(経営者)	競争相手の様子	・相変わらず12月も思わしくなく組合の共同販売の売上も前年度比1.5割近く落ち込んでいる。12月も2社廃業し、追い込まれているようである。自社は前年と余り変わらず、インターネット販売や小売は前年よりも上向いている。
	建設業(社員)	受注量や販売量の動き	・12月の時期に受注が非常に少ない。入札がくじによる比率が100%に近く、常に同札で敗れている。工事の発注数も前年比で20%も落ち込んでおり、景気が上向いてくるのか不安である。
	x	-	-
雇用関連 (九州)	人材派遣会社(社員)	周辺企業の様子	・企業の内定の辞退が例年より多いとのことである。求人数が多く、内定を出しても、条件の良い会社が決まれば辞退するという話を多くの企業で聞く。人材確保のために新卒の給料を上げたり、定着率を上げるために既存の社員の給料を見直したりする企業も出てきている。
	人材派遣会社(社員)	採用者数の動き	・紹介予定派遣の案件や求人数が増えつつあり、求職者の動きも年末にしては多かった。
	新聞社[求人広告](担当者)	それ以外	・衆議院選挙も終わり政治も安定し、次の東京オリンピックへの準備、期待感がある。当地も引き続き外国人観光客の需要も高い。年末の駅周辺も例年よりにぎやかである。
	職業安定所(所長)	求人数の動き	・人手不足の影響もあると思うが、企業誘致が多くなっている。
	民間職業紹介機関(社員)	求人数の動き	・派遣社員の契約終了数よりも依頼数が若干上回っている。
	求人情報誌制作会社(編集者)	求人数の動き	・最低賃金の引上げの影響もあるが、平均の時間給が大幅に上がってきている。地元の飲食業、小売店、食品メーカーの直接雇用等、時給が上げられないところでは、時給面で人の採用が難しくなっている。
	職業安定所(職員)	採用者数の動き	・建設、介護・看護、運輸、警備等人材が不足している分野の他に、調理職や接客職、清掃職等のサービス業でも応募者が少なく採用難に陥っている。自動車整備職では応募者がいないため、納車等の周辺業務を切り離し、資格経験のいらない周辺業務だけパートで別に募集する動きがある。
	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・業界で景気の動向が様々で、平均すると変わらない。
	職業安定所(職業紹介)	求人数の動き	・引き続き求人数の増加がみられ、管内の有効求人倍率も高い水準で推移している。
	学校[大学](就職支援業務)	求人数の動き	・新卒の募集件数は前月、前年度と比較して若干減少しているが、中小企業を中心に人材不足の状況は変わらない。また来年の新卒採用に向けて各企業の動き出しも若干早まっている。
	人材派遣会社(社員)	求職者数の動き	・有効求人倍率が右肩上がりで、正社員募集や直接雇用の募集に求職者の応募が流れており、派遣会社への新規登録者数は直近3か月減少し続けている。企業からの依頼は引き続き堅調だが、人材が不足し新規契約できない事例が目立ってきている。また既存稼働中の派遣社員も正社員の仕事が決まって退職する事例も増加してきており、全体母集団が小さくなっていることに危機感がある。
	x	-	-